

おおやまざき



(後列左から)

小畑 孝信議員 朝子 直美議員 島 一嘉議員 辻 真理子議員 井上 治夫議員 波多野 庇砂議員 井上 博明議員

(前列左から)

西田 光宏議員 堀内 古比呂議員 徳本 修司議員 山中 一成議員 北村 吉史議員

令和4年10月24日 スタート

新たな大山崎町議会

新しい大山崎町議会がスタートしました

議員としての抱負

令和4年10月16日に執行された大山崎町議会議員一般選挙において、12人の議員が選ばれました。各議員のこれからの4年間の抱負を紹介します。 *議員の並びは、議席番号(議場での座席番号)順です。



6 北村 吉史
本町の限らない発展の為、議会人として行政の監視・提言・対話をしていく所存です。

5 徳本 修司
“声を聴き動き伝える”皆様の声を町政に伝え、大山崎町を豊かにし、良い町にします。

4 小畑 孝信
「想いをかたちに」を胸に町が抱える問題に真正面から取り組み全力で活動して参ります。

3 辻 真理子
町民と議会、町や学校とのつなぎ役として、子育て世代のリアルな声を届けます。

2 堀内 古比呂
住みやすい優しい町となるよう、住民の願いを、まっすぐに議会へと届けます。

1 朝子 直美
ジェンダー平等、子どもの権利条例、高齢者、障害者児への支援策拡充に取り組みたい。



12 井上 博明
ぶれない、媚びない、逃げないをモットーに、しがらみのない立場で是非々々で臨みます。

11 波多野 庇砂
議員は「公」の立場です。村度すべきは全住民に公平・公正の判断とすべき考えです。

10 井上 治夫
「声を聞きます。行動します。お役に立ちます。」で、住民自治を大切にします。

9 山中 一成
「忘己利他」自分のことを忘れ、大好きな大山崎住民のために生きる。

8 島 一嘉
住民の皆さんと共に歩む大山崎町、安心・安全なまちづくりに取り組みます。

7 西田 光宏
情報収集に努め、自ら学び提案して大山崎町の発展に必ず繋げてまいります。

ご挨拶



副議長 西田 光宏

副議長にご推挙いただきました西田光宏でございます。

これからの2年間、議長とともに住民の皆さまのお役に立てるよう、頂いた職責をしっかりと務めていくことをお誓い申し上げます。



議長 北村 吉史

議長にご推挙いただきました北村吉史でございます。

この大山崎町の限らない発展のために、住民、職員、議員の皆さまとともに頑張ってまいりますので、よろしく願い申し上げます。

大山崎町議会議員名簿

任期：令和4年10月24日から令和8年10月23日まで

議席番号	議員名	所属会派
1	朝子 直美	日本共産党議員団
2	堀内 古比呂	日本共産党議員団
3	辻 真理子	日本共産党議員団
4	小畑 孝信	公明党
5	徳本 修司	れんごう大山崎
6	北村 吉史	大山崎クラブ

議席番号	議員名	所属会派
7	西田 光宏	大山崎クラブ
8	島 一嘉	大山崎クラブ
9	山中 一成	大山崎クラブ
10	井上 治夫	日本共産党議員団
11	波多野 庇砂	保守・本流・のぞみ
12	井上 博明	是非々の会



議員紹介はこちらから

委員会の委員などが決まりました

令和4年11月1日に、大山崎町議会議員一般選挙後の初議会が開催されました。議長及び副議長、議会選出の監査委員や各委員会の委員などを決定しました。

常任委員会

総務産業常任委員会

6人

町組織の総務部、環境事業部の経済環境課、会計課の所管の事項を審査します。

- 委員長 朝子 直美
- 副委員長 徳本 修司
- 委員 堀内 古比呂
- 委員 北村 吉史
- 委員 西田 光宏
- 委員 波多野 庇砂

常任委員会

建設上下水道文教厚生常任委員会

6人

町組織の健康福祉部、環境事業部(経済環境課を除く)、教育委員会の所管の事項を審査します。

- 委員長 辻 真理子
- 副委員長 井上 博明
- 委員 小畑 孝信
- 委員 島 一嘉
- 委員 山中 一成
- 委員 井上 治夫

常任委員会

予算決算常任委員会

10人

町の予算及び決算に関する事項を審査します。

- 委員長 山中 一成
- 副委員長 小畑 孝信
- 委員 朝子 直美
- 委員 堀内 古比呂
- 委員 辻 真理子
- 委員 徳本 修司
- 委員 西田 光宏
- 委員 島 一嘉
- 委員 波多野 庇砂
- 委員 井上 博明

*議長と監査委員を除く全議員が委員です。

常任委員会

広報常任委員会

6人

議会広報誌の編集をはじめ、議会の広報・広聴の充実に関することを担います。

- 委員長 山中 一成
- 副委員長 辻 真理子
- 委員 徳本 修司
- 委員 北村 吉史
- 委員 井上 治夫
- 委員 波多野 庇砂

議会運営委員会

6人

円滑な議会運営のために、協議や意見調整を行います。

- 委員長 波多野 庇砂
- 副委員長 島 一嘉
- 委員 朝子 直美
- 委員 小畑 孝信
- 委員 徳本 修司
- 委員 井上 博明

監査委員

議会議員の中から選任され、議会において議決(同意)しました。

- 井上 治夫

一部事務組合議会などの議員

- 乙訓環境衛生組合議会
 - 堀内 古比呂
 - 徳本 修司
- 乙訓福祉施設事務組合議会
 - 山中 一成
 - 辻 真理子
 - 小畑 孝信
 - 井上 博明
- 乙訓消防組合議会
 - 島 一嘉
- 京都府後期高齢者医療広域連合議会
 - 波多野 庇砂
 - 京都府地方税機構議会
 - 北村 吉史
- 西田 光宏

議会改革特別委員会

12人

議会及び議員活動の活性化と充実を図るとともに、町民に開かれた議会をめざして調査研究を行います。

- 委員長 島 一嘉
- 副委員長 堀内 古比呂
- 委員 委員長と副委員長以外の全議員

私たちが、「議会だより」の編集を担います!



✔ こんなことが決まりました

この街に この人

選任と表彰に同意しました。

よろしくお願いします

大山崎町教育委員会委員
ふちだ みずき
澁田 瑞希 さん

大山崎町自治功労表彰

ながい まさとし
永井 正俊 さん
しま かずよし
島 一嘉 さん

議会の意思表明

— 議員から2つの決議案を提出 —

前川町長に対する問責決議案

採決は、賛成5人：反対5人。議長裁決により、**可決** 可決した決議の内容はこちらから



開かれた議会にむけた良識ある議会会議運営についての決議案

採決は、賛成5人：反対5人。議長裁決により、**否決**



コロナ関連

令和4年度 一般会計補正予算

✔ (全員賛成)
可決

新たな議員により、審査・審議を行いました。

○価格高騰下における各種の支援策が実施されます。

電気・ガス・食料品等の価格高騰下における支援のための予算(一般会計補正予算：1億5,971万9千円)を可決しました。

— 主な支援策 —

- 住民税非課税等の低所得世帯に、臨時特別給付金(1世帯あたり5万円)を支給
- 町立小学校給食費2か月分を免除
- 上下水道基本料金 令和4年度第4期分(9月・10月の使用分)を免除

令和4年
11月1日開催
臨時会

8月25日から9月16日までの23日間にわたり、町長から提出された22件の議案と2件の諮問(人権擁護委員候補者の推薦)を審議しました。

季刊議会

9月議会あらまし
(令和4年第3回定例会)



議決結果はこちらから



会議録はこちらから

すべての議案及び諮問は、原案可決または認定、同意しました。

コロナ関連

✔ (全員賛成)
可決

令和4年度一般会計補正予算

- 子育て世帯に緊急応援給付金を給付
コロナ禍の厳しい状況が続く中、小学生以下の児童がいる世帯に、子ども一人につき1万円を給付。
- 放課後児童クラブ指導員の人材派遣委託料、大山崎集会所の修繕料 など

✔ (全員賛成)
認定

令和3年度決算認定

- 新型コロナウイルス感染症への対応にかかる事業により、一般会計決算は、昨年度(過去最大)に次ぐ規模となった。
- 一般会計を含めた9つの会計の決算は、全て認定。



決算の詳細はこちらをご覧ください。
広報おおやまざき 令和4年11月号



✔ **不採択**

9月議会に提出された陳情

小倉橋西詰旧交番跡地並びにその周辺を、住民の憩いの場となるよう整備されることをお願いします。(陳情書)

(賛成少数)により不採択

一般質問



山中 一成 前議長
(令和4年10月23日まで)

ここが聞きたい！

10人が町政を問う。

9月定例会では、9月1日、2日の2日間にわたり、10人の議員が一般質問を行いました。

9月定例会の報告のため、任期満了に伴い退職した議員の質問も掲載しています。

このページは、本会議の一般質問をもとに各議員が作成しています。詳しくはこちら
(会議録検索へ)



一般廃棄物と指定ごみ袋について

嘉久志 満 議員

町：指定ごみ袋は、既に導入している

他の質問：高額な带状疱疹ワクチン接種費助成について



指定ごみ袋

Q 本町はゼロカーボンシティ宣言をしている。本町の一般廃棄物削減について質問を行う。①指定ごみ袋を配布したが回収率と評価を問う。②指定ごみ袋は、いつ頃から実施するのか。③生ゴミ処理機購入助成事業の効果を問う。

A ①指定ごみ袋の回収率は、2割程度。昨年度と比較するとごみ排出量も減少している。②本年3月に指定ごみ袋のサンプルを全世帯へ配布した。指定ごみ袋は、既に導入している。③ごみ減量の効果は小さいが住民の取組意識の高揚が重要である。制度の周知とごみ減量の啓発に努める。

Q 指定ごみ袋は、既に導入していると答弁があったが、いつ決定、いつ周知したのか。

A 指定ごみ袋は配布時が導入となる。ごみ袋の買い置きがなくなれば切替えて頂くよう周知している。



まちづくりの対策について

西田 光宏 議員

町：具体的な対策案は検討中・模索中

他の質問：安心・安全・教育・福祉分野について



検討中・模索中…
いつまでですか？

Q 当町においては2025年問題を踏まえ、人口動態を減少と予測されているが間違いないか。またその場合の対策案として以前私が町内住宅地の容積率・建ぺい率・高さ制限の緩和を求めたが、その後の進展状況と対策案を問う。

A 2025年をピークに人口が減少していくと予想する。大山崎町都市計画マスタープランの改定に向けて検討中である。

Q 町長の「できることはできる主体が行う」小さな行政の実現を目指すと「表明は住民の理解を得られているのか、町内における住民の自治会離れの現実も踏まえて問う。」

A 地域の人が周囲と関わりを持ち、地域の課題は地域で解決する住民自治を目指し意見を集約。自治会の加入率は年々落込み、退会人数も相当あり憂慮している。組織の連合化・広域化を提案し模索中。



中学生議会の実現について

岸 孝雄 議員

町：議会議員とも連携調整し検討したい

他の質問：本町の職員体制と役場のBCPIについて



大山崎町議会議場

Q 学校給食施策議論において、当事者たる児童生徒の意見を反映していたかを振り返り、中学生のみならずにも町の運営に主体的に関わっていく機会としての中学生議会の実現を提案する。

A 選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられ、中学校からの体系的な主権者教育の充実を図る必要性が高まっている。また、中学3年の社会科では、選挙管理委員会から投票箱等を借用し模擬投票を実施している。

Q 主権者教育の一環として中学校で自分達の代弁者をご選出いただき、議場で中学生視点での町の在り方について、町長、教育長と直接議論いただく機会を創設しては如何かと考えるがいかがか。

A 中学生目線の考えを聞き、行政施策立案の参考にするため、議会議員とも連携、調整を図り、実現に向け検討したい。

春の入園児予想数・待機の有無

他の質問：西山天王山駅ルート小倉橋の交通混雑対策



小倉橋

Q ①春の入園児予想総数待機の有無を問う。②保育所定数遵守・新保育所の増設。経年劣化の建替え・保育士の待遇改善を。③必要保育所の増設建替えを順次民営で。④保育士の処遇改善について。

A ①4年間で120人増・入所率55%。春の入園児童数625名の見込み。現状の面積要件で受け入れ可能。待機無し見込み。②町営3園370名・民営237名。入所児童の年齢毎に必要な面積規定クリア。③施設内の劣化個所の修繕を順次進める。④国の制度保育士等処遇改善臨時特例活用改善。来年度の新規入所継続入所受付を早め11月から入所児童数の把握で必要保育士の確保を進める。

Q ⑤西山天王山駅ルート小倉橋の交通混雑対策について。

A ⑤小倉橋北側に歩道橋設置・横断歩道「府」に要請。

うぐいす号の利便性向上について

他の質問：安心・安全な通学路。地下水守る浄水場整備



安心・安全な通学路の整備を

町：便数や停留所を増やしコースも検討

井上 治夫 議員

Q 長寿苑バス「うぐいす号」が新車になり、一日3便から5便に増便され喜ばれている。利用者の声を聞いて、停留所を増やしたり、コースを変更したりすることを求めるがいかがか。

A 利用者のアンケート結果を踏まえ、令和3年11月から試験的に一日3便から5便に増便し、本年4月から本稼働としました。ご意見をいただいた中で、試験的に停留所の新設(小倉橋南)やコースの一部変更も行いました。

Q 今後、うぐいす号を福祉バスとして運用し、車がなくとも、高齢者が元気に暮らせる町をめざすべきと考えがいかがか。

A 公共交通会議において合意を得る必要があります。交通事業者が運営する既存の乗合バスやタクシーへの影響を十分考慮し、これらの事業活動を妨げないように配慮することが必要です。



町：小学生以下1人1万円を給付

コロナ禍での子育て世帯に支援を

他の質問：ランドセル症候群対策、夏の町体育館活用等

辻 真理子 議員



子ども施策向上で
まちを好循環に

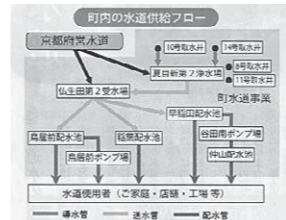
- Q 7月、8月は陽性確定や濃厚接触者に該当したり、RSウイルス等で保育所を休まざるを得ない家庭が多く、有給が無くなった。特休が取れなかった。との声を聞いている。全乳幼児の7月、8月の保育料を日割りとし家計の負担軽減をしてほしいかがか。
- A 全乳幼児の保育料日割りは行わないが、こうした世帯の負担軽減策としても、小学生以下の児童のいる世帯に、子ども1人につき1万円を給付する。
- Q 高校卒業までの医療費無償化について問う。
- A 町長公約の「子育て環境の充実」において、「18歳(高校終了時)までの医療費の無料化」を掲げている。子育て世帯の負担軽減に向けて実現させたい。
- Q 定期的なおむつ等の配布を実施してはどうか。
- A 様々な角度から費用対効果、代替事業の可能性等慎重に検討する。

水道事業水資源の適正化について

町：先ず施設整備、次に水源の最適化

他の質問：都市計画税・償却資産税

しま かずよし 議員



水道供給(広報おおやまざきより)

- Q 昨年より、水道事業の地下水と府営水道ブレンドについて今後の方針を確認しているが、町長は住民の声を聞いて判断するとして、昨年12月の広報おおやまざきの特集号で、水運用の在り方を可及的すみやかに決定するとしている。その進捗を問う。
- A 安心で安全な水道水を安定的に供給できる水道を目指して合理的・能率的に事業を行っている。浄水場施設より配水池の耐震化を先行している。一定の進捗後に水資源の最適化を判断する。
- Q 水道料金の引き下げを望む声が多い現状だが、すぐに料金引き下げができなくても費用を抑える方法は、
- A 水源の町地下水と府営水道、どちらかに絞ることも考えられるが、今は配水池整備を先行させている。

国基準以上の環境で安心な保育を

町：待機児童ゼロや施設整備で安心を確保

他の質問：里山の保全、障がい児者への支援充実

あさこ なおみ 議員



正規保育士の増員も

- Q 保育所では定員を超える受け入れが続いている。より良い保育環境に向け、増設も視野に入れた施設整備が必要と考えるがいかがか。
- A 令和6年度以降は、入所希望児童の増加傾向も落ち着くと見込んでいる。
- Q 来年度当初に待機児童を出さないための対策として、9月時点で、来年度の入所希望数を把握する調査を行ってはいかがか。
- A 入所申請時期を例年より1か月早め、11月上旬から行うことで、必要な保育士確保など、受け入れ体制の準備が可能になると考えている。
- Q 放課後児童クラブ利用児も増加傾向の中、特に狭い「ともだちクラブ」の早期建て替えが求められるがいかがか。
- A 放課後児童クラブ各施設の今後の整備改革については、町全体の公衆施設の整備状況を見ながら適切に判断していく。



前川町政の4年間の評価

北村 吉史 議員

町：自分としては合格点と思う

他の質問：アート&テクノロジー・ヴィレッジ構想について



大山崎町役庁舎

- Q 町長の自己評価と、幹部職員からの町長に対する評価について問う。
- A 突然の新型コロナウイルス感染症の発生により大変難しい状況だったが、マスクの配布、水道基本料金減額、住民との対話等を行った。また基金残高が急激に増加し19億になった。自分としては合格点と考える。幹部職員からの自分に対する評価は、その制度が無い。
- Q コロナ感染症対策のほとんどが大山崎クラブ・公明党・無所属の岸議員による提言の丸呑みではないか。基金が増えた原因は前町政における都市計画税導入が大きいのではないか。あなたは都市計画税に反対していたので、撤廃するべきでは。また、またしても若手幹部職員が退職すると聞きおよんでいるが組織として、重大な欠陥があるのではないか。
- A そんなことはない。



物価高騰から生活守る対策が必要

渋谷 進 議員

町：町民生活の実態を把握して対応

食品主要105社の 値上(予定含む)	
6月	1500品目
7月	1600品目
8月	2000品目
10月	6300品目

帝国データバンク調べ
食品の価格上昇

- Q 現在の物価高騰はさらに激しくなると予測されている。それは住民生活の困難が今まで以上に増す事を意味する。町はこうした事態をどう認識しているか。また、緊急に生活支援策で対応すべきと考えるかどうか。
- A 我々議員団は事態を極めて憂慮し1億円で4つの緊急対策を提案している。実施にむけ早急にとりくむべきと考えるがどうか。
- Q コロナ過の下で、生活支援策は、これまでも取り組んできた。今回町独自の施策として、小学生以下の子どものある世帯に、「子育て世帯緊急応援給付金」として、子ども1人あたり1万円を給付する補正予算を提案している。
- A 1億円で4つの緊急対策については、引き続き住民生活の実態把握に努めるとともに、国の動向も注視していく。

前議員(令和4年10月23日任期満了)の政務活動費(議員の活動費)の支出状況をお知らせします。

(単位：円)					
会派名	大山崎クラブ	日本共産党議員団	公明党	保守・本流のぞみ	合計
会派人数(人)	3	4	1	1	9
交付額	105,000	140,000	35,000	35,000	315,000
経費	調査研究費	4,680		2,414	7,094
	広報・広聴費	119,615		13,080	132,695
	資料購入費	16,050			16,050
合計	0	140,345	0	15,494	155,839
返還額	105,000	0	35,000	19,506	159,506

※議員一人あたり月額5,000円が、所属する会派に対して交付されます。

令和4年度政務活動費の使途(令和4年4月~10月分)

政務活動費は、調査研究等の活動のために必要な経費の一部として、町から交付されます。公平性と透明性の確保のため、使途は毎年公表しています。

ホームページはこちらから
政務活動費の公開



— 新たな大山崎町議会のスタートにあたり —

投票率からみる大山崎町議会

○町議会議員選挙の投票率結果

- ・ 今回の投票率 60.22% (議員定数 12人)
- ・ 参考 平成30年 59.77% (議員定数 12人)
- 平成26年 62.25% (議員定数 12人)
- 平成22年 66.69% (議員定数 12人)
- 平成18年 66.18% (議員定数 16人)

今回の投票率は、4年前と比べて、若干ですが高くなりました。

若い人は投票に行かない。と一般的には言われていますが、どうだったでしょうか。

期日前投票も増え、町民の皆様が1票の重要性を感じ、1票を投じたことにより、小さな町ならではの暮らしやすさや課題を実感されているのかもしれない。

新たな議会の決意

10月16日の町議会議員選挙で次の4年間の議員が決まり、新しい議会構成となりました。

今回投票に行かれた方、投票に行かれなかった方、皆様の1票の重みを受け止め、議会開会時期のみならず、閉会中の議員活動や、議会としての調査・研究を行い、町民の皆様にご期待される議会

であり続けられるよう努力してまいります。

ぜひ、「議会だより」も手に取って頂き、ご意見を頂ければ議会も発展します。

選挙期間だけではなく、より議会に関心を持って頂けるよう、議会広報も発信してまいります。

広報常任委員会

12月 議会日程

令和4年第4回定例会日程

日程詳細



開会	12/6(火) 10:00
議会改革特別委員会	12/8(木) 13:30
一般質問	12/13(火)・14(水) 10:00
総務産業常任委員会	12/15(木) 13:30
建設上下水道文教厚生常任委員会	12/16(金) 13:30
予算決算常任委員会	12/19(月) 10:00
広報常任委員会	12/21(水) 13:30
閉会	12/22(木) 10:00

— 請願・陳情の提出期限 —

定例会開会日の翌日 17:00

提出の方法



発行 大山崎町議会

編集 広報常任委員会

山中一成委員長 辻真理子副委員長
徳本修司 北村吉史
井上治夫 波多野庇砂